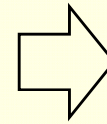


1. 今なぜ体験活動か

○子どもたちの体験活動の機会の創出

- ・心や体を鍛えるための負荷がかからない「無重力状態」
- ・遊びや体験の場や「本物」を見る機会の減少
- ・保護者の経済力や学校の判断による「体験格差」



体験活動の機会を意図的・計画的に創出することが求められている

※「体験活動」とは…

主として「体験を通じて何らかの学習が行われることを目的として、体験する者に対して意図的・計画的に提供される体験」

- ①生活・文化体験活動
- ②自然体験活動
- ③社会体験活動

○社会経済の変化と「社会を生き抜く力」

- ・価値観やライフスタイルの多様化、社会とのつながりの希薄化
- ・他者と協働したり、創造性やチャレンジ精神を身に付けた人材の必要性

○体験活動を推進する社会的な仕組みの構築

- ・地域・学校・家庭・民間団体・民間企業等の役割と連携
- ・法的な枠組の整備や財源の在り方など社会的な仕組みの構築に向けた取組

2. 体験活動の意義・効果

- 「社会を生き抜く力」の養成
- 勤労観・職業観の醸成

- 自然や人とのかかわり
- いじめなど課題を抱える青少年への対応

- 規範意識・道徳心等の育成

- 学力と体験活動
- 発達段階別の体験活動

3. 青少年の体験活動を推進するための取組

(1) 学校教育における体験活動の推進

- ① 学校教育における体験活動の推進と社会教育との連携
- ② 教員の体験活動に関する指導力向上
- ③ 大学の秋入学移行に伴う青年期の体験活動の推進

(2) 社会全体で体験活動を推進するための機運の醸成

- ① 体験活動に関する理解の促進
- ② 学校・家庭・地域の連携
- ③ 民間団体・民間企業との連携
- ④ 体験活動の評価・顕彰制度の創設
- ⑤ 体験活動の指導者養成と安全性確保の取組

(3) 青少年教育施設の役割・取組

- ・国立施設のナショナルセンターとしての機能強化
- ・効率的・効果的な運営の在り方(季節開設等)について検討

4. 東日本大震災を踏まえた青少年の体験活動

- ・体験的な防災教育の推進(「防災キャンプ事業」の推進)
- ・ボランティア活動の積極的な奨励
- ・被災地の子どものリフレッシュ・心のケアのための体験活動
- ・防災拠点としての青少年教育施設の機能強化

5. グローバル化に対応した国際交流の推進

- ・世界スカウトジャンボリー(※)を契機とした青少年の国際交流の機運の醸成

(※)ボーイスカウト世界大会(平成27年夏、山口県にて開催)

- ・青少年教育施設を活用した国際交流事業の取組の充実